

脇町 うだつの町並み周辺図

↑デ・レイケ公園
あんみつ館

皿そば 楽庵
楽庵のそばは、碾きたて、打ちたて、湯がきたての
打ちそばです。

脇町 「うだつの町並み」

阿波藩が奨励した藍づくりは、江戸時代から明治にかけての阿波の代表的な産業として扱われました。吉野川の水運に恵まれた脇町は藍の集散地として栄え、大規模で豪壮な商家が軒を並べていました。

今も、二七〇〇年以降の各時期の商家が数多く残り、かつての繁栄を示しています。

一九八八年に全国で二八番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

「うだつ」とは？

うだつは二階の壁面からつぎだした漆喰塗りの袖壁で、火まけ壁とも呼ばれ、防火の役目をしていました。江戸時代、裕福な商家は、この「うだつ」をあげた立派な家を競って建てました。

「うだつがあがる」「うだつがあがらない」ということわざの語源ともなっています。



中央橋



脇町劇場 オデオン座
脇町劇場は、1934年に芝居小屋として建てられ、歌舞伎、浪曲などが催されていました。その後、映画館として使用されていましたが、廃館しました。現在は、芝居やLIVE・映画など様々な催し物に使用されています。(入館料200円)

フナト

美馬市立 脇町図書館
図書館では、期間によって企画展などの展示が行われています。

正木酒店
明治時代に使われていた「書状集箱」というポストがあります。また、日本酒「うだつのあがる酒」や「花嫁菓子」などを販売しています。

Cafe 角屋
店内では、コーヒー・紅茶・手作りケーキなどをお楽しみいただけます。

阿波踊り竹人形の里 時代屋
阿波踊り竹人形や竹筆など、竹製品を実演販売しています。

茶里庵
お茶屋さん、郷土料理、そば米雑炊などが食べられます。(不定休)

ふるさと
いなか団子や田楽などを販売しています。土・日・祝のみ営業しています。

のどけや

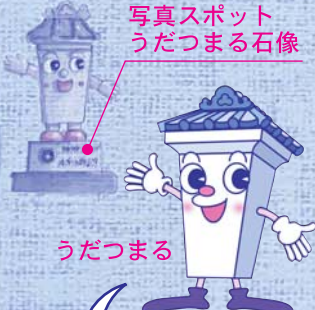
げんじゅ庵
日替り、松花堂、丼、定食などが食べられます。

川田光栄堂
脇町に昔から伝わる郷土菓子「麦団子」をはじめとした和菓子が販売されています。

南橋

大谷川

写真スポット うだつまる石像



うだつまる

ぼくと一緒に
写真を撮ろう!!

野崎呉服店
江戸末期創業の呉服店。藍染め製品と阿波しじら織を中心に販売を行っています。

小川鮮魚店
「ラムネ」「サイダー」など、昔なつかしい飲み物がそろっています。

美馬市観光交流センター

吉田家住宅
1792年創業の藍商の館。市指定文化財として、一般開放されており、当時の建築様式のすばらしさと、藍商の暮らしぶりをご覧いただけます。(入館料510円)

道の駅 藍ランドうだつ

観光駐車場 (バス専用)

←寺町

穴吹→

稲田橋

城の谷川

吉野川

流域ごとに移り変わる景観のすばらしさから「四国三郎」とも呼ばれ、いにしえより人やモノ、文化を運ぶ「動脈」としての歴史を持ち、「母なる川」の風格をも持った四国最大の大河です。日本を代表する大川であり、暴れ川としても知られています。

お問い合わせ
美馬市観光協会 TEL0883-53-8599